

平成27年1～2月 女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦
～ 岡山労働局長による企業トップ訪問を実施 ～

岡山労働局では、「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」の一環として、三上労働局長による企業のトップ訪問を行いました。

県内でのさらなる気運の醸成を図るため、各業界の有力企業を訪問し、女性の活躍促進のための取組の実施や情報開示についての要請文をお渡ししました。



平成27年1月26日（月）
（株）山陽新聞社を訪問

編集記者職を中心に女性が活躍しており、女性の役職者は8名（うち部長職2名）で、今後も増加が見込まれています。

労使で構成するワーク・ライフ・バランス協議会の下部組織として「働き方見直し委員会」を設け、仕事と子育ての両立支援制度の拡充や長時間労働の解消等に積極的に取り組んでいます。

女性の育児休業取得率は100%であり、男性の育児休業取得者も4名います。





平成27年1月29日（木）
（株）山陽セフティを訪問

警備業であるため女性の割合が1割以下と少ないですが、女性用の宿直室を新たに設置する等により女性の配置拡大のための取組みを進めています。

警備業にも語学力やホスピタリティが求められるようになるなど、女性が活躍できる場面が増えているため、女性の採用拡大を積極的に検討しています。

今春は初めての女性の課長職登用を予定しており、活躍が期待されています。



平成27年1月30日（金）
（株）廣榮堂を訪問

女性の管理職のトップは部長であり、主任以上の役職の54%を女性が占めています。

女性顧客のニーズを踏まえた商品企画化等に女性が活躍しています。

男女とも販売や製造などの様々な部署をオールラウンドに経験させながら育成することとしており、若い時期に仕事の幅を広げておくことが、その後のスムーズなキャリアアップにつながっています。

社長のリーダーシップのもと、仕事と家庭を両立しやすい風土づくりに取り組んでおり、男女とも長く働ける職場をめざしています。





平成27年2月6日（金）
（株）山陽マルナカを訪問

イオングループのダイバーシティ推進の方針のもと、「2016年までに女性の管理職 30%」という自社独自の目標に向かって、計画的な取組を進めています。

2013年からダイバーシティプロジェクトを開始し、妊娠、出産等のライフイベントに係るサポート制度の紹介や、販売チラシへの女性の意見の反映等経営に参画する意識を高めるための取組を実施しています。

プロジェクト開始時点では女性の店長は1名でしたが、現在は店長と副店長を合わせて12名まで増加しています。

